

# はまな

No.590 2025年11月

静岡県水産・海洋技術研究所浜名湖分場

〒431-0214

静岡県浜松市中央区舞阪町弁天島 5005-3

TEL 053-592-0139 FAX 053-592-0906

<https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/hamanako>

e-mail:suigi-hamanako@pref.shizuoka.lg.jp

## 目次

2025年10月のトラフグ漁の結果と漁期全体のトラフグ漁獲予測について	・・・ 1
浜名湖における有害プランクトンの発生について	・・・ 2
県民の日イベントを開催	・・・ 3
クルマエビの種苗放流が行われました	・・・ 4
西部地区漁業士の活動紹介	・・・ 5
体験学習施設ウオットより	・・・ 8
分場日誌(2025年7月～10月)	・・・ 9
弁天島の水温・比重(2025年7月～10月)	・・・ 10

写真：アサリ浮遊幼生調査の様子

## 2025 年 10 月のトラフグ漁の結果と漁期全体のトラフグ漁獲予測について

鈴木 朋和

静岡県のトラフグ漁は、毎年 10 月 1 日に解禁となり、翌年 2 月末日まで行われます。今年は 10 月 3 日が初水揚げとなりました。10 月の漁獲量は計 3.8 トンで、前年同月（1.9 トン）を上回りました。これは、月前半の漁況が好調であったことと、昨年より魚体が大きかったことなどが要因と考えられます。

また解禁に先立ち、当分場では、2025 年漁期（以下「今漁期」といいます。）の漁獲予測を行いました。昨年漁期における渥美外海小型底曳網の 0 歳魚の漁獲尾数や静岡県の 1 歳魚、2 歳魚以上の漁獲尾数を基に計算した結果、今漁期は昨年漁期より 1 歳魚が減少するものの、2 歳魚、3 歳魚以上ともに漁獲尾数が増え、2 歳魚を主体に、昨年の漁獲量 11.5 トン並みの 12.0 トンが漁獲されると予測しました（表 1）。今漁期では昨年の漁獲主体であった 2023 年生まれが成長したものが漁獲主体になるという予測です。

実際、10 月の市場調査結果では、全長 40cm 前後までの 1 歳魚が 24%（昨年 74%）、全長 40～50cm 程度の 2 歳魚が 73%（昨年 23%）と予測どおり 2 歳魚が主体でした（図 1）。しかし、1 歳魚が少ない場合は来年漁期以降の資源の状態が心配ですので、今後、1 歳魚の出現について注目していきます。

この様に市場調査の結果はトラフグ伊勢・三河湾系群の資源評価、種苗放流効果調査の資料及び漁獲予測のデータとして用いており、トラフグ漁の持続的な操業の提言に活かしています。今後とも、漁業者の方々をはじめ、仲買や市場関係者の方々には、引き続き市場調査へのご理解とご協力をお願いします。

表 1 静岡県におけるはえ縄漁によるトラフグ漁獲尾数及び漁獲量  
（2024 年漁期結果と 2025 年漁期予測）

年齢	漁獲尾数		漁獲量(トン)	
	2024年結果	2025年予測	2024年結果	2025年予測
1歳	8,787	2,290	7.5	1.9
2歳	1,973	4,991	3.2	8.2
3歳以上	277	638	0.8	1.9
合計	11,037	7,919	11.5	12.0

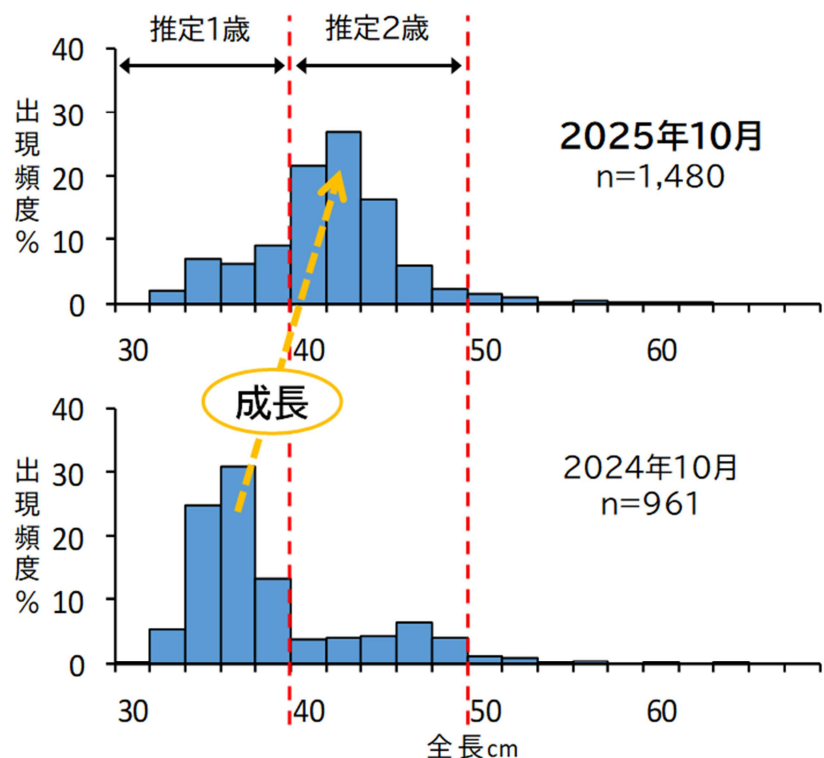


図 1 2025 年 10 月(上段)と 2024 年 10 月(下段)の  
トラフグ体長組成



## 浜名湖における有害プランクトンの発生について

市川 稜

海中を漂うプランクトンの中には、魚貝類を殺してしまう種がいます。これらは人体への直接的な被害を引き起こすものではありませんが、「有害プランクトン」と呼ばれ、その発生状況を漁業者や養殖業者は常に注視しています。

浜名湖においては、大きな漁業被害をもたらす2種類の有害プランクトンが知られています。「ヘテロカプサ・サーキュリスカーマ」は、貝類に有害な種で、過去にも浜名湖内で度々発生し、近年もアサリやマガキに被害をもたらしています。「カレニア・ミキモトイ」は、魚類及び貝類に有害な種で、直近では2020年11月から2021年2月にかけて浜名湖内で大発生し、特に養殖マガキに大きな被害をもたらしました。

今回は、浜名湖の定点観測における調査点（図1）で本年8月以降に確認されているこの2種の有害プランクトンの発生状況（表1）について報告します。

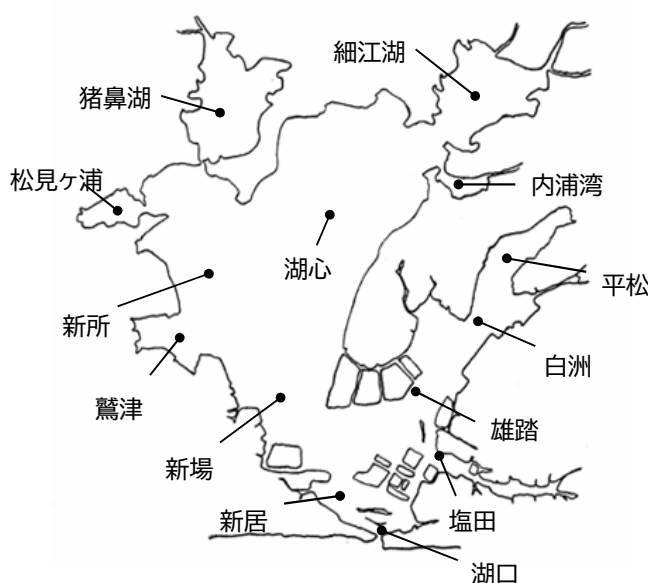


図1 浜名湖における定点観測の調査点

### ① ヘテロカプサ・サーキュリスカーマ

本種は8月上旬に湖北部を中心に確認され、同月下旬には内浦湾、細江湖で赤潮を形成し、内浦湾では最高細胞数 3,560cells/ml に達しました。その後、一旦収束したものの、10月中旬から下旬にかけて、再度赤潮の形成が確認され、猪鼻湖では最高細胞数 17,000cells/ml に達しました。カキ養殖業者の方からは、猪鼻湖と松見ヶ浦において、養殖中の一部のマガキがへい死したとの情報提供がありました。

### ② カレニア・ミキモトイ

本種は8月上旬に湖北部を中心に確認され、同月下旬には内浦湾で赤潮を形成し、最高細胞数 1,440cells/ml に達しました。袋網（小型定置網）漁業者の方からは、同時期に湖北部において、入網した魚がへい死したとの情報提供がありました。

また、8月下旬に確認された際は、ヘテロカプサ・サーキュリスカーマとの混合赤潮を形成していました。これは過去の発生記録をみても稀な事例でした。

8月上旬に確認されたこの2種の有害プランクトンは、本稿執筆時点（11月末）においても、低い密度ではありますが確認されております。当分場では、引き続き湖内におけるプランクトン調査を実施しその動向に注視するとともに、調査結果を漁協・漁業者等の関係機関に情報提供していきます。

表1 有害プランクトンの発生状況（上段数値：ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマの最高細胞数、下段数値：カレニア・ミキモトイの最高細胞数、－：未調査）  
（単位：cells/ml）

調査日	調査地点													
	湖口	新居	塩田	雄踏	新場	白洲	平松	新所	鷺津	湖心	内浦湾	細江湖	松見ヶ浦	猪鼻湖
8/5	0	0	0	0	10	0	0	0	30	100	140	420	40	340
	0	20	0	0	10	0	0	0	10	40	150	20	0	60
8/13	0	0	0	0	20	20	0	40	0	90	10	20	0	80
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	30	160	0	10
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8/26	－	－	－	－	－	－	－	－	－	530	3,560	2,560	120	120
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	230	1,440	230	100	50
9/2	0	0	0	0	10	0	0	0	30	100	140	420	400	340
	0	20	0	0	10	0	0	0	10	40	150	20	0	60
9/10	0	0	0	0	0	0	0	30	10	180	420	200	90	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	0	30	0
9/17	－	－	－	－	－	0	0	0	0	0	0	10	0	0
	－	－	－	－	－	0	0	0	0	10	10	0	0	0
10/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	10	20	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	10	60	60	70	80	30
10/15※	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	2,750
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
10/21※	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	17,000
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	0
10/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	1,800
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	10	0
10/29	－	－	－	－	－	－	－	－	－	50	0	0	420	570
	－	－	－	－	－	－	－	－	－	10	0	40	0	0
11/5	0	0	0	0	0	0	0	70	50	90	0	20	1,563	700
	0	0	0	0	0	0	0	0	60	0	20	20	0	0
11/11	－	－	－	－	－	－	－	70	220	100	130	50	360	350
	－	－	－	－	－	－	－	0	40	30	70	310	20	20
11/19	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	30	40	100	30
	0	0	0	0	0	0	0	10	30	30	0	40	30	40

※10/15、10/21は漁業者による採水持込

## 県民の日イベントを開催

霜村 胤日人

静岡県では、8月21日を「県民の日」と定め、様々な施設でイベントを開催しています。会場では、浜名湖に関するクイズを集めたイベント「浜名湖クイズチャレンジ ～ドーマン校長の浜名湖学校入学テスト～」を開催し、延べ78人の方に挑戦していただきました。

今回はウォットに来館いただいた方ならどなたでも参加できるイベントとしました。難易度別に、小学校低学年くらいまでのお子さん向け「新入生コース」と、インターネット等で調べないと大人でも回答が難しい「博士コース」の2つを設けました。



クイズに挑戦中の来館者

開催時間は午前 10～12 時の 2 時間と限られていましたが、会場内で子供も大人も一緒になってクイズに挑戦する姿がとても微笑ましかったです。浜名湖の環境や生き物について知る良い機会になってもらえたならば幸いです。

★ **新入生コース** ★



【問題1】  
 浜名湖の水はどんな味？

①あまい ②しょっぱい ③味がしない

～ ヒント ～  
 浜名湖は海とつながっています

新入生コースの問題の一例

★ **博士コース** ★



【問題1】  
 浜名湖には付属する4つの水域があります。庄内（しょうない）湖、猪鼻（いののはな）湖、松見ヶ浦（まつみがうら）、あと1つは何でしょう？

○○○湖 ※ひらがな3文字

～ ヒント ～  
 浜名湖の北東部にある水域

博士コースの問題の一例

## クルマエビの種苗放流が行われました

山本 高宏

浜名湖の水産資源を持続的に活用する取り組みを行っている浜名湖地区水産振興協議会によるクルマエビの種苗放流が9月に行われました。この放流は、浜名湖におけるクルマエビの栽培漁業への取り組みとして続けられているものです。

今年は、9月2日に平均全長 32.1mm の種苗を鷺津と雄踏地先に 13 万尾ずつ、9月17日に白洲と村櫛地先に 9.4 万尾ずつ、計 44.8 万尾放流しました（図）。種苗は、昨年と同様に静岡県温水利用研究センターで 30mm 程度まで育成した個体で、生息に適していると考えられる水深の浅い砂地に、タルに入れて船で運び放流しました（写真）。

以前と比べて、放流尾数は大きく減少し、実施方法も変わりましたが、同協議会はその時々に行える方法で浜名湖におけるクルマエビの栽培漁業の灯を守り続けています。

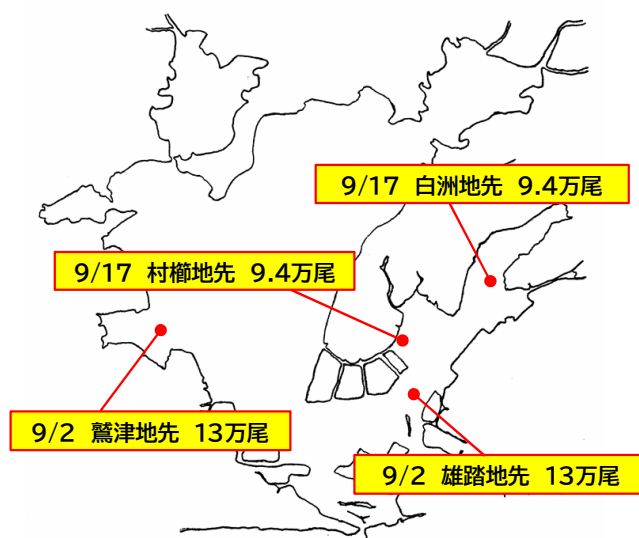


図 今回のクルマエビ種苗の放流場所



① 種苗をタルに収容



② タルに収容した種苗



③ 放流

【写真①～③】 クルマエビ種苗放流の様子

## 西部地区漁業士の活動紹介

霜村 胤日人

県西部地区では、青年漁業士 4 人、指導漁業士 11 人及び名誉漁業士 2 人の計 17 人（令和 7 年 11 月現在）の漁業士が県漁業士会西部支部のメンバーとして交流を深め、地域の中核的な漁業者として研鑽を積むことを目的に、支部活動に取り組んでいます。本稿では、今年度の活動状況を紹介したいと思います。

### I 行政との意見交換会

この会は、漁業者の関心事や浜の話題を県当局に直接伝えることができる良い機会です。今年度は、8 月 1 日に JR 浜松駅近くにある民間の貸し会議室で開催されました。

西部支部からは足立支部長（指導漁業士）ら計 8 人、県庁からは吉野水産・海洋局長ら計 5 人、浜名湖分場からは小林分場長ら計 5 人が出席し、漁業士の活動やトラフグの TAC 管理に関すること、浜名湖の環境変化などについて意見交換を行いました。



意見交換会の様子



他地区の漁業士との交流をテーマに話し合った際には、今後は所属地区の異なる漁業士間の交流や連携を深める機会として、県内各地で開催されている水産関係のイベントを活用できないか等、活発に意見が交わされました。

## 2 こども食堂への食材提供

皆さんは「こども食堂」をご存じでしょうか？ こども食堂とは、子供やその保護者、地域住民の方などが利用でき、無料又は低額で栄養バランスのとれた食事を提供する場所です。経済的に困難を抱えている家庭への支援だけでなく、孤食の解消、地域交流の場などの役割も担っており、NPO 法人やボランティア団体が運営しています。食事の提供に当たっては、資金や人材の確保も重要ですが、地域の方々からの食材提供が大きな支えとなっています。

西部支部では、メンバーが漁獲・生産した水産物をこども食堂に提供することができないか協議を重ね、地域貢献及び魚食普及を目的に、新たな支部活動としてこども食堂への水産物の提供を試行的に開始することにしました。また、水産物の提供はあくまで提供者の厚意によるものであることを前提に、提供者が設定する価格で水産物を支部予算で買上げて、西部支部として食堂に無償で提供することとしました。

7月に、湖西市内で活動している「子ども＆みんなの食堂いちかわさんち」、磐田市内で活動している「腹ぺこ食堂」の運営者をそれぞれ訪ね、食堂の開催頻度や利用状況などについて聞き取りを行いました。どちらの食堂も、水産物については、これまでに提供を受けたことがほとんどなく、他の食材と比べて割高であるため料理に取り入れることはほぼないなど、“ハードルの高い食材”であることが分かりました。聞き取り結果を支部メンバーで共有し、こども食堂の実情を知る良い機会となりました。

水産物の提供は9月からこれまでに計3回行い、遠州灘で獲れたマアジ、メヒカリ、タチウオ等の鮮魚を20kg以上、浜名湖産の板のり200枚及び生のり2kgなどを食堂に届けました。運営者からは感謝の言葉が寄せられ、利用者にとっても好評であったとのことです（プライバシー保護の観点から、食堂開催時に訪問したり、利用者に直接お会いするような行為は控えています）。

こども食堂への水産物の提供は今のところ試行段階ですが、この取組を通じて地域貢献に真摯に向き合う漁業士の姿を見ることができ、改めて漁業士という存在の意義を実感しました。当场としても、引き続きこの取組を応援していきたいと思います。



「子ども＆みんなの食堂いちかわさんち」への水産物の提供  
(提供日：9月17日(写真左)、10月9日(写真右))



「腹ぺこ食堂」への水産物の提供  
(提供日：9月23日)

### 3 浜松市立丸塚中学校での出前授業

丸塚中学校からの依頼を受けて、10月14日に足立支部長、中野指導漁業士及び白柳青年漁業士の3人が同校を訪問し、3年生の総合的な学習の時間に出前授業の講師を務めました。

同校から事前に「生き方」をテーマに授業を行ってほしいとの要望があったため、足立支部長は「しらす魚」、中野漁業士は「かき養殖」、白柳漁業士は「のり養殖」の方法について解説しながら、それぞれ就業のきっかけや漁師という職業の面白さ、生産者としてのやりがい、苦労話なども交えて丁寧に説明していました。

生徒の皆さんが真剣に話を聞いていたのが印象深く、質問時間には「しらす船の“乗り子”の給料はいくらなのか？」などのリアルな質問があり、船主の足立支部長が苦笑いする場面もありました。漁業士の3人にとっても良い経験になったようです。



講師を務めた3人の漁業士  
 足立支部長（中央）  
 中野指導漁業士（左）  
 白柳青年漁業士（右）



出前授業の様子



## 体験学習施設ウオットより

### ★ウオットイベント「浜名湖クリーン隊」・「ハロウィン DAY」を実施しました★

浜名湖体験学習施設ウオットでは 10 月 19 日（日）、11 月 23 日（日）に浜名湖湖岸清掃活動「浜名湖クリーン隊」を行いました。また、10 月 26 日（日）には「ハロウィン DAY」と称し季節に合わせたイベントを開催しました。

浜名湖クリーン隊では、飼育員と参加者が一緒に湖岸のゴミ拾いをし、ペットボトルや釣り道具などのゴミを容器いっぱいに集めました。また、最近問題となっているマイクロプラスチックの解説も交え、参加者の皆さんに浜名湖のゴミ問題や、生き物への影響など関心を持っていただきました。

ハロウィン DAY のイベント「水中ダイバーSHOW」では、大水槽に魔法使い姿のダイバーが登場しました。魔法使いが魚たちへごはんをプレゼントする様子に、子供たちからは歓声があがりました。また、来館されたお子さまにはお菓子をお渡しするなど、一足早いハロウィンを楽しんでいただきました。

12 月～2 月の「浜名湖クリーン隊」とクリスマス関連のイベントは以下の日程で開催予定です。みなさまのご来館をスタッフ一同お待ちしております。



#### 「浜名湖クリーン隊」

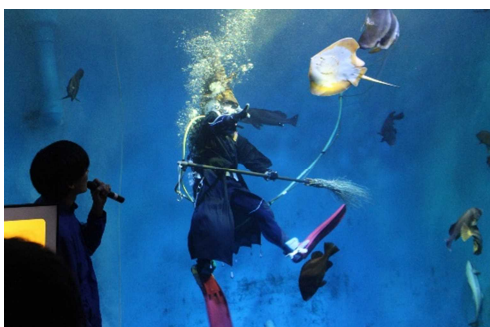
12 月 7 日（日）

1 月 18 日（日）

2 月 23 日（祝・月）

当日予約 13:30～より 20 分程度

参加は受付までお越し下さい。



#### 「水中ダイバーSHOW」

12 月 21 日（日）「クリスマス DAY」

1 月 12 日（祝・月）「成人 DAY」

2 月 11 日（祝・水）「バレンタイン DAY」

14:00～より 20 分程度

どなたでも参加できます。

#### 夜間営業「クリスマスナイト」

12 月 20 日（土）18:00～20:00（最終入館は 19:30）

※昼間のチケットでの再入館はできません

※本コーナーに関するお申込み・お問い合わせは、ウオット（TEL：053-592-2880）にお願いします。

（ウオット飼育主任 工藤 隆馬）

## 分場日誌（2025 年 7 月～10 月）

### 【7 月】

- 1 日 定点観測  
伊勢・三河湾系群魚種・資源評価担当者検討会（web）
- 3 日 外部資金獲得向上セミナー（web）
- 4 日 広域種栽培漁業推進検討会（web）  
静岡県立焼津水産高校トラフグ放流対応
- 8 日 新任研究員交流会・山本研究員
- 11 日 静岡サレジオ小・中・高等学校見学対応
- 15 日 第 1 回分野横断型研究ワークショップ
- 25 日 BLUE ECONOMY EXPO @Suruga Bay 海の未来会議@駿河湾
- 28 日 BLUE ECONOMY EXPO @Suruga Bay 海の EXPO@駿河湾

### 【8 月】

- 1 日 西部地区漁業士と行政との意見交換会  
水産防疫に係る担当者説明会（web）
- 4 日 トラフグ資源評価会議（横浜）
- 5 日 定点観測
- 18 日 静岡県西遠女子学園見学対応
- 19 日～ 養殖衛生管理技術者研修実習コース・市川主任（東京 8/29 まで）
- 21 日 県民の日対応
- 22 日 静岡県漁業士会役員会・農林水産統括部長との意見交換会
- 25 日～ インターンシップ学生 2 名受入れ（8/29 まで）
- 28 日 第 284 回技術連絡協議会

### 【9 月】

- 1 日 参議院事務局来場
- 2 日 定点観測
- 3 日 水産海洋学会地域研究集会（web）
- 8 日 浜名湖分場・ウォット・渚園合同防災訓練
- 16,17 日 内水面関係研究開発推進会議（web）
- 17 日 静岡うなぎ漁協 鰻供養祭
- 22 日 浜名漁協ふぐ組合出漁前会議
- 24 日 ウォット指定管理者選考・期間評価委員会
- 30 日 海づくり協会地域協議会総会

## 【10月】

- 1日 全国湖沼河川養殖研究会（web）
- 2,3日 東海北陸内水面地域合同検討会
- 6日 KHV病診断技術講習会・山本研究員（三重）
- 8日 定点観測  
ウォット指定管理者選考委員会
- 10日 函館市海洋都市推進機構来場  
しずおか食セレクション審査会
- 14日 浜名湖発親うなぎ放流連絡会第1回連絡会  
浜松市立丸塚中学校出前授業
- 20日 静岡県立漁業高等学園見学対応  
FRESCOの改修に関する説明会（web）
- 22,23日 二枚貝生産環境研究会（横浜）
- 27日 伊勢湾・三河湾行政研究連絡会議（愛知）
- 28日 第285回技術連絡協議会
- 29日 水産用医薬品薬事監視講習会（web）
- 30,31日 しずおか農林水産物認証定期監査（静岡うなぎ漁協）
- 31日 ウナギ種苗生産研究中間検討会（web）  
シラスウナギ調査会議（web）

## 弁天島の水温・比重（2025年7月～10月）

月		2025年		平年※	
		水温	比重( $\sigma_{15}$ )	水温	比重( $\sigma_{15}$ )
7月	上旬	27.8	23.4	24.3	22.3
	中旬	27.7	24.2	26.1	21.9
	下旬	28.6	25.1	27.2	22.1
	平均	28.1	24.2	25.9	22.1
8月	上旬	29.6	24.5	28.1	24.0
	中旬	26.0	25.2	27.9	23.3
	下旬	26.1	25.5	27.9	23.0
	平均	27.1	25.1	28.0	23.4
9月	上旬	27.5	24.6	27.7	22.8
	中旬	27.7	22.4	27.3	23.3
	下旬	25.2	24.6	25.7	23.5
	平均	26.9	23.9	26.9	23.2
10月	上旬	25.1	25.3	24.5	23.9
	中旬	23.9	24.2	23.6	24.4
	下旬	21.2	25.2	21.9	24.4
	平均	23.2	25.0	23.3	24.2

※ 過去10年平均



関連情報をQRコードから確認できます

浜名湖分場	広報誌「はまな」	ウォット	関東・東海海況速報
			